

# 米の販売数量及び民間在庫の推移（令和6年12月）

- 令和6年12月の米の販売数量の対前年同月比は、小売事業者向けで▲8%、中食・外食事業者等向けは+1%となっており、販売数量の計では▲4%となっている。また、6年1月～12月の対前年比は、小売事業者向けで+1%、中食・外食事業者向けは±0%となっており、販売数量の計では+1%となっている。
- 令和6年12月末現在の全国の民間在庫は、出荷・販売段階の計で対前年差▲44万トンの253万トンとなっており、出荷段階は対前年差▲48万トンの197万トン、販売段階は対前年差+4万トンの56万トンとなっている。

## 【米穀販売事業者における販売数量の動向(前年同月比)(速報)】

	5年1月 ～12月計	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月 ～12月計
小売事業者向け	102%	106%	108%	107%	108%	106%	114%	104%	100%	86%	85%	93%	92%	101%
(※令和元年との比較)	(103%)	(110%)	(111%)	(108%)	(109%)	(114%)	(116%)	(104%)	(107%)	(87%)	(86%)	(97%)	(99%)	(104%)
中食・外食事業者等向け	105%	103%	106%	100%	99%	103%	98%	99%	100%	97%	100%	100%	101%	100%
(※令和元年との比較)	(97%)	(96%)	(100%)	(95%)	(94%)	(102%)	(97%)	(97%)	(97%)	(98%)	(100%)	(100%)	(99%)	(98%)
販売数量計	103%	105%	107%	104%	104%	105%	107%	102%	100%	91%	92%	96%	96%	101%
(※令和元年との比較)	(101%)	(103%)	(106%)	(102%)	(102%)	(108%)	(107%)	(100%)	(102%)	(92%)	(93%)	(98%)	(99%)	(101%)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トンの販売事業者（年間取扱数量約150万トンの（令和5年産主食用米等の生産量661万トンの約2割））である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

## 【購入数量の推移(家計調査)】

(単位:Kg,%)

		5年1月 ～12月計	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米	購入数量	56.65	3.52	3.92	4.49	4.38	4.87	4.64	4.37	5.73	6.35	7.65	5.11	
	前年同期比	98.7%	94.6%	96.6%	105.6%	97.1%	109.4%	109.7%	99.5%	129.1%	104.8%	113.3%	113.8%	
パン	前年同期比	98.0%	103.9%	101.2%	104.0%	101.4%	99.7%	96.9%	102.3%	103.8%	94.9%	95.3%	100.8%	
	前年同期比	93.8%	99.2%	100.0%	99.6%	94.1%	97.7%	103.7%	93.4%	104.6%	107.0%	97.7%	100.2%	

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

## 【民間在庫量の推移(出荷+販売段階)(速報)】

		当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
5/6年	出荷+販売段階	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
	出荷段階	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
	販売段階	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	31
6/7年	出荷+販売段階	82	65	149	245	260	253						
	対前年差	▲40	▲39	▲50	▲44	▲43	▲44						
	出荷段階	58	44	113	187	201	197						
	対前年差	▲38	▲34	▲49	▲48	▲48	▲48						
	販売段階	25	21	36	58	59	56						
対前年差	▲3	▲5	▲2	+4	+5	+4							

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

注2：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

注3：期間については、6/7年であれば、令和6年7月～7年6月である。